

会員数	35,504	(前月比) +114
郵送	8,727	(前月比) -123
手配り	24,008	(前月比) -323

協同基金到達額 2,439,998,000円(6/30現在)
[前月比 10,987,000減]
協同基金出資者数 12,471名(6/30現在)
いのちを守る助け合い募金額 19,343円(6/1~30)



発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0824
堺市堺区老松町2丁58-1
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部30円

友の会23番目の支部

梅南支部結成



参加者を前にあいさつする山口支部長

健康友の会みみはら23番目の支部、梅南支部が6月27日(土)結成されました。泉北地域では3つ目の支部となります。

泉北高速鉄道「梅・美木多駅」の南側に位置する原山台・庭代台・御池台に、6月27日支部を結成しました。この地域では、2年、10年の歴史を持つ4つの班があり、それぞれ定期的に

班会を重ねてきました。当日は、先輩支部の泉ヶ丘西、美木多支部からも参加していただき、38人の会員が集いました。1部では、前田部長より友の会の歴史についてのお話と、事

務局から活動方針と世話人の提案を行いました。2部では、「ぼんひのぼん」の井上診療所」の井上朱實先生から生活習慣病についてのお話いただきました。「習慣病」といっていかにも自己責任のように受け止められますが、人間らしく生きられない社会に問題があり、自己管理だけの問題

ではないと社会問題にもふれられました。また1日30分運動が必要といわれていますが、続けて30分だけでなく、5分ずつに分けてでも負担にならないように継続する事が大切と話されました。この言葉に参加者全員、これなら私にもできると自信が持てたようです。

地域人になって、「地域でこんなことがやれないかな」と思っていたことが、健康友の会みみはらの活動にあることを発見し、5年前に班を作り、御池台の皆さんと医療や健康の班会をしてきました。地域にはいろいろな問題がありますが、差し迫っていることは介護保険から要支援者がはすされることです。団塊の世代が後期高齢者に入る2025年に向けて重要な課題です。



支部長からひと言

支部長 山口正平さん

健康と住みよいまちづくりでは、美木多支部や泉ヶ丘西支部とともに、同仁会の施設とはかなり離れた地域での、友の会活動のあるべきよき形態を追求していきたいと考えています。

7・15総合エリア緊急行動

「戦争法案強行採決」に怒り爆発



集会後、近所をパレードする参加者

7月15日「安保関連法案」が特別委員会でも強行採決！マスコミ各社調査でも反対多数、安倍首相自身「国民の充分な理解を得ていない」と答弁するのに強行採決とは信じられません。総合エリアでは7月15日昼休み、病院横公園での緊急抗議集会と近所へのパレードに80人が参加し、「戦争反対」「人殺しはやだ」と訴えました。全国各地でも反対運動が大きくなっています。九州では役所のアンケートで、私立幼稚園に「あなたのごところはミサイルが飛んできたら避難所になってもらえるか？」という項目があり、戦争法案が通れば現実になるかとぞつとしたとの報告。子ども、孫の代まで戦争に巻き込む「戦争法案」は、みんな廃案にしましょう！反対の声を大きくし、安倍内閣を追い詰めましょう。

聴診器

「俺のこころは戦争と平和」と友人。彼の生まれは12月8日で太平洋戦争開始、妻は5月1日のメーデーです。さて、この8月15日は終戦の日、そして今年には「戦後70年」とは、70年前を振り返ることこそ「節目」の意味があります▼筆者の「戦争と平和」体験です。中学1年のとき、今の耳原病院から1キロほどのところで低空飛行のグラマンからの機銃掃射に遭遇、近くの補助足袋(当時)のタンクから水が噴き出しています。戦争は怖いのです。終戦を知った喜びは、空襲警報のサイレンで夜中に起こされずにすむこと、そして「灯火管制」が無くなり、明るい電灯の下で夕食が食べられたことです▼今、大きく問題となっている「安全保障法案」と名付けた「戦争法案」は危険です。病氣と同様、未然に防ぐことが大事です。それと分かったときは遅いのです。まだしも病氣は治療ができますが、戦争は始めたら治療はできません。ハンセン病回復者の御(こたま)雄二さんの遺した言葉「平和こそが最高の薬、最高の医療」を今一度考えたいです。